



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025 年 第 28 週（7 月 7 日～7 月 13 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2 人	患者 2 人
		血清型	O157 1 人、O26 1 人
四類感染症	E 型肝炎	1 人	推定感染地域 国内
	レジオネラ症	1 人	病型 ポンティアック熱型
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人	菌種 <i>Escherichia</i> sp.
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人	血清群 A 群 2 人
	侵襲性肺炎球菌感染症	3 人	
	水痘（入院例）	1 人	病型 臨床診断例
	梅毒	10 人	病型 早期顕症Ⅰ期 5 人、 早期顕症Ⅱ期 4 人、 無症状病原体保有者 1 人
	破傷風	1 人	
	百日咳	260 人	
	年齢階級	0 歳 2 人、1 歳 1 人、2 歳 1 人、4 歳 2 人、 5 歳 3 人、6 歳 6 人、7 歳 15 人、8 歳 21 人、9 歳 23 人、 10 歳代 137 人、20 歳代 8 人、30 歳代 12 人、40 歳代 11 人、 50 歳代 9 人、60 歳代 5 人、70 歳代 3 人、80 歳代 1 人	
	麻疹	3 人	病型 検査診断例 1 人、 修飾麻疹（検査診断例） 2 人

＜百日咳の患者情報＞

百日咳は 260 人の報告（第 27 週以前に診断された患者を含む）があり、前週（279 人）を下回った。年齢階級別の患者数を患者の診断された週ごとに見ると、第 28 週に診断された患者 236 人のうち、10～14 歳は 84 人（全体の約 36%）と最も多く、次いで 5～9 歳の 72 人（約 31%）、15～19 歳の 24 人（約 10%）の順であった（図 1）。

（参考）埼玉県感染症対策課 最新の感染症情報（URL：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/news/widespread-infectious-disease.html>）

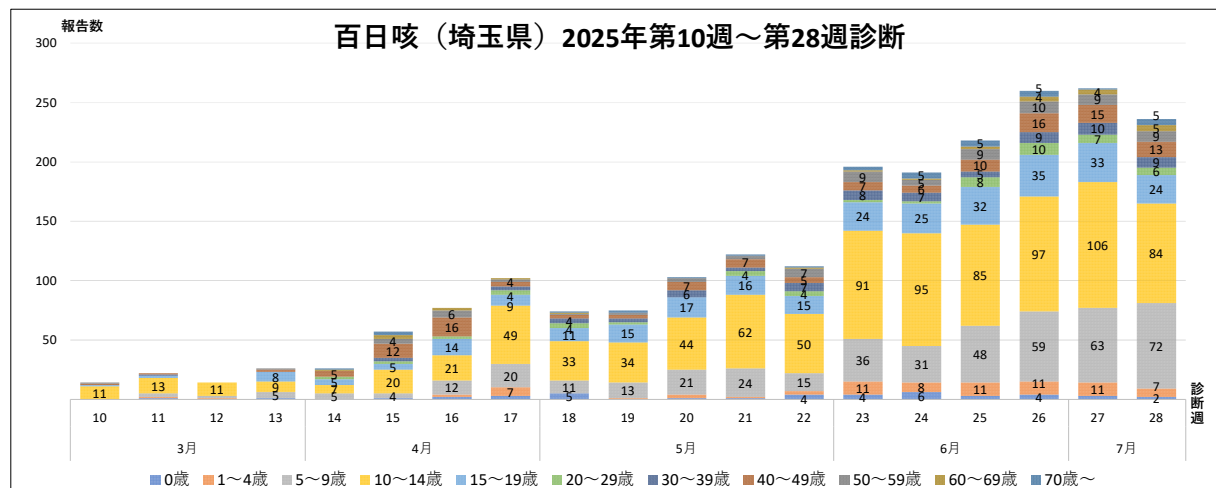
＜定点把握疾患の患者情報＞

新型コロナウイルス感染症（2.51→3.49：図 2）の定点当たり報告数は、第 25 週以降、増加傾向にある。保健所別では、幸手（3.44→8.00）、朝霞（4.88→7.38）、春日部（2.17→4.67）保健所管内で大きく増加した。基幹定点における入院患者の報告は 22 人（前週 15 人）であった。伝染性紅斑（1.86→1.50：図 3）の定点当たり報告数は、第 24 週以降、減少傾向にあるものの、依然として多い状況にある。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（4.66→4.14：図 4）の定点当たり報告数は、第 24 週以降、緩やかな減少傾向にあるものの、高い水準にある。水痘（0.84→1.48：図 5）の定点当たり報告数は、第 19 週以降増減を繰り返しつつ推移しており、やや多い状況にある。年齢階級別では、6～9 歳の報告が多く、全体の約 56%であった。ヘルパンギーナ（0.56→0.81：図 6）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。急性呼吸器感染症（76.10→76.48：図 7）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であった。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 4 人、流行性角結膜炎 23 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 13 人（前週 8 人）の報告があった。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

<注目すべき疾患（百日咳）>

図1 百日咳の年齢階級別報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

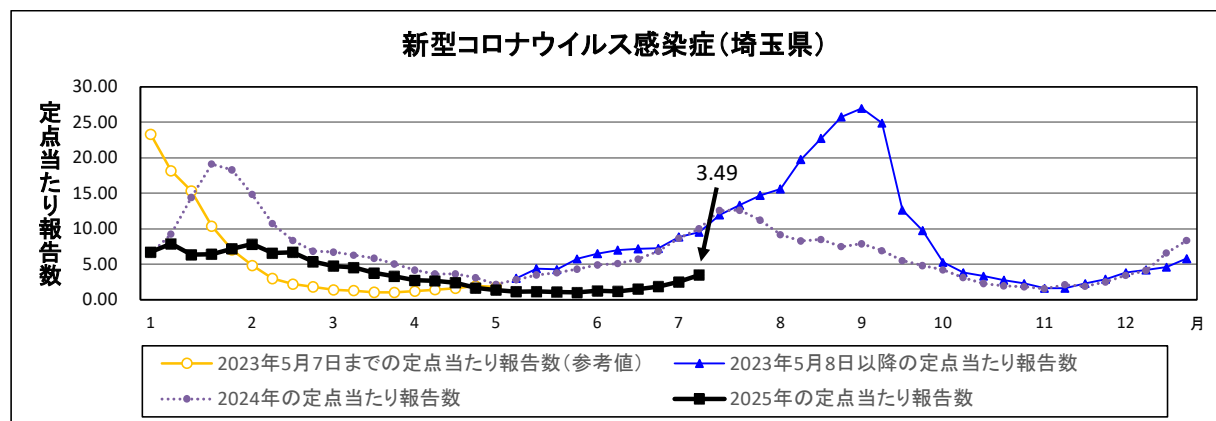


図3 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

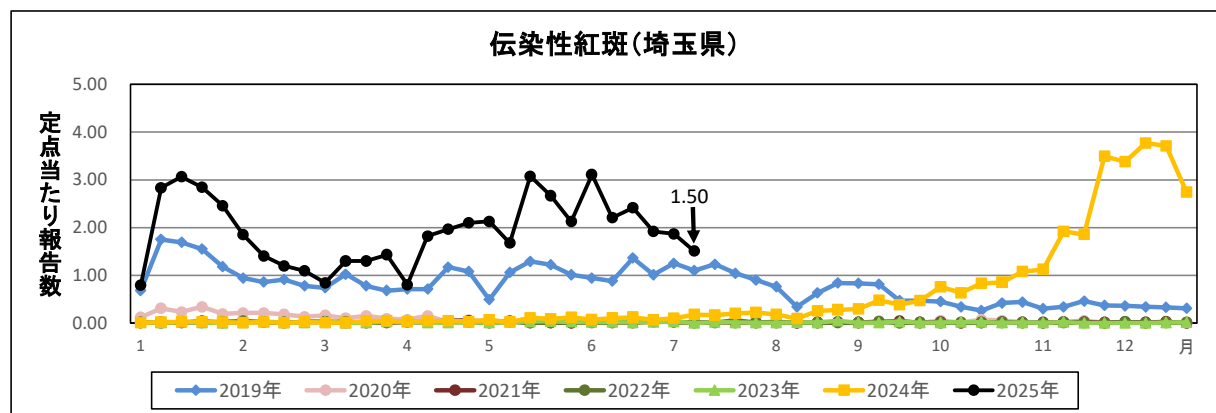


図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

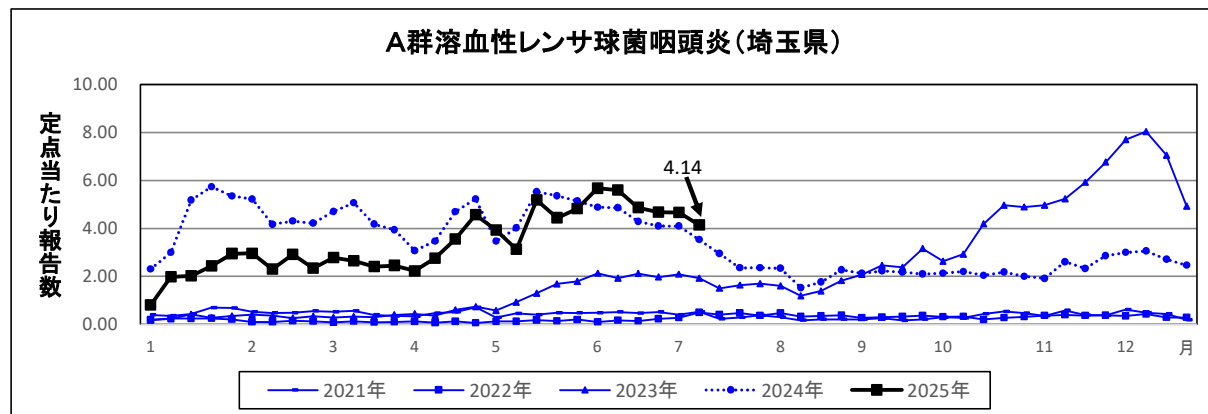


図5 水痘の定点当たり報告数の推移

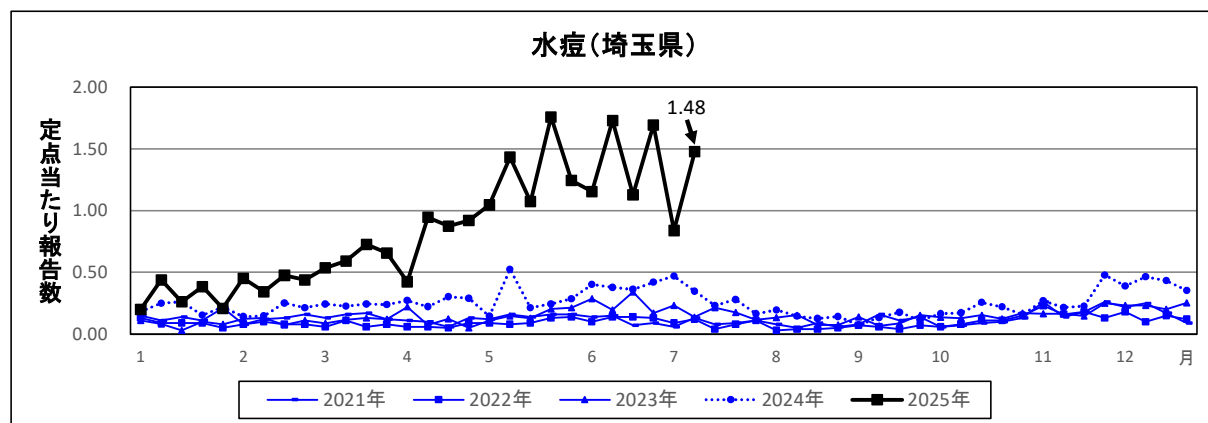


図6 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

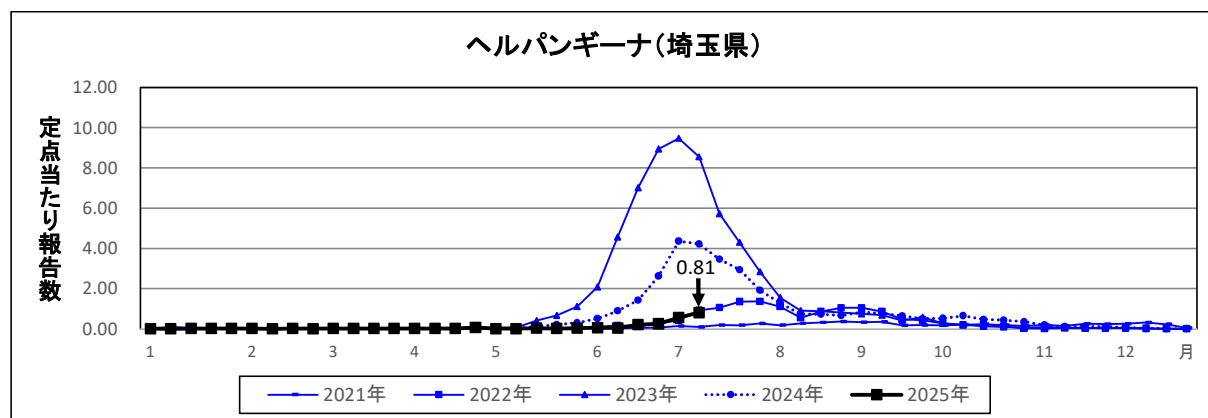
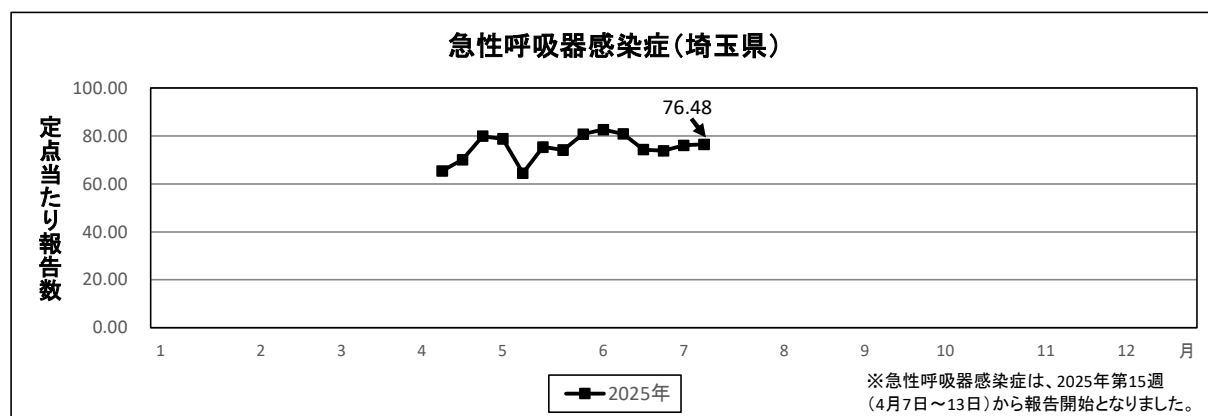


図7 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第28週)

(2025年7月15日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		1	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	63			
四類感染症					
E型肝炎	1	19	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症	1	49
つつが虫病		1	レプトスピラ症		
デング熱		1	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		4	侵襲性肺炎球菌感染症	3	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘(入院例に限る)	1	15
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	44	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	10	291
急性脳炎		18	播種性クリプトコックス症		3
クリプトスポリジウム症		1	破傷風	1	3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
後天性免疫不全症候群		20	百日咳	260	2293
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		15	麻しん	3	8
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2025年6月分)

2025年6月の届出総数は、患者45人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者21人の計67人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに増加した。過去1年と比べると、患者数は多く、無症状病原体保有者数は同水準であった。推定感染地域は国内40人、国外8人、不明19人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2024年6月～2025年6月)

		2024年*							2025年							累計**
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
総計		61	61	48	59	64	58	76	65	51	57	56	58	67		
年齢階級																
	10歳未満	1	0	0	1	1	1	1	2	4	2	1	1	0	10	
	10歳代	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	4	0	5	
	20歳代	3	13	6	6	4	4	11	7	5	7	4	7	8	38	
	30歳代	6	2	5	4	6	0	6	5	2	3	3	5	6	24	
	40歳代	5	3	2	0	6	5	4	1	5	8	5	4	6	29	
	50歳代	8	9	6	8	9	9	7	14	6	3	9	5	8	45	
	60歳代	9	5	9	8	7	4	9	6	7	7	4	4	8	36	
	70歳代	10	14	9	17	7	12	10	13	8	11	7	9	14	62	
	80歳代	13	12	7	9	17	18	17	8	12	10	10	12	12	64	
	90歳以上	6	3	4	6	5	5	9	9	1	6	13	7	5	41	
性																
	男	37	43	29	39	36	32	44	44	30	33	39	25	40	211	
	女	24	18	19	20	28	26	32	21	21	24	17	33	27	143	
類型																
	患者	43	37	33	37	40	35	43	34	29	35	39	38	45	220	
	感染症死者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	疑似症患者	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	3	
	無症状病原体保有者	18	24	15	22	23	23	33	30	22	22	17	19	21	131	
病型																
	肺結核	32	24	17	26	29	24	30	22	22	27	28	23	26	148	
	肺結核及びその他の結核	1	6	5	4	4	3	5	4	3	2	6	4	5	24	
	その他の結核	10	7	11	7	7	8	8	8	4	6	5	11	14	48	
	疑似症患者	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	3	
	無症状病原体保有者	18	24	15	22	23	23	33	30	22	22	17	19	21	131	
推定感染地域																
	国内	35	31	25	28	38	40	50	38	28	34	23	34	40	197	
	国外	9	9	2	3	3	4	6	10	4	5	3	4	8	34	
	不明	17	21	21	28	23	14	20	17	19	18	30	20	19	123	

*: 2024年の届出数は暫定値

** : 2025年1月からの累積届出数

6月に診断された67人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計26人の報告があり、60歳代以上が17人で約65%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2025年6月分)

		病 型					総計
		肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
総計		26	5	14	1	21	67
年齢階級							
	10歳未満	0	0	0	0	0	0
	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	3	0	1	0	4	8
	30歳代	2	1	1	0	2	6
	40歳代	3	0	2	0	1	6
	50歳代	1	0	2	0	5	8
	60歳代	4	1	2	0	1	8
	70歳代	4	2	2	1	5	14
	80歳代	7	1	1	0	3	12
	90歳以上	2	0	3	0	0	5

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報告患者数										保健所別		(2025年第28週 7月7日～7月13日)									
保健所		インフル エンザ #1	新型コロナ ウイルス 感染症	急性呼吸器 感染症	RS ウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A 群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)		
全 県	報告数	27	615	13,460	37	72	460	692	164	51	167	48	90	11	4	23	-	2	13	-	-	-	22		
	定点当たり	0.15	3.49	76.48	0.33	0.65	4.14	6.23	1.48	0.46	1.50	0.43	0.81	0.10	0.09	0.53	-	0.17	1.08	-	-	-	1.83		
朝 霞	報告数	6	118	1,042	3	3	54	44	27	4	18	5	14	-	-	1	-	-	3	-	-	-	3		
	定点当たり	0.38	7.38	65.13	0.30	0.30	5.40	4.40	2.70	0.40	1.80	0.50	1.40	-	-	0.20	-	-	3.00	-	-	-	3.00		
鴻 巣	報告数	2	71	1,342	2	11	38	54	10	-	17	3	7	1	-	3	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	0.17	5.92	111.83	0.29	1.57	5.43	7.71	1.43	-	2.43	0.43	1.00	0.14	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*		
東 松 山	報告数	1	6	449	-	1	2	58	-	-	5	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	定点当たり	0.25	1.50	112.25	-	0.33	0.67	19.33	-	-	1.67	0.33	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00		
秩 父	報告数	-	6	104	-	4	11	-	-	1	1	1	1	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-		
	定点当たり	-	1.50	26.00	-	1.33	3.67	-	-	0.33	0.33	0.33	0.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-		
本 庄	報告数	-	-	160	1	1	5	-	2	-	16	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	定点当たり	-	-	40.00	0.33	0.33	1.67	-	0.67	-	5.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
熊 谷	報告数	1	15	618	-	1	16	30	2	1	15	1	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	定点当たり	0.11	1.67	68.67	-	0.20	3.20	6.00	0.40	0.20	3.00	0.20	1.60	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-		
加 須	報告数	3	12	140	3	-	7	-	1	-	11	-	1	-	-	3	-	-	3	-	-	-	1		
	定点当たり	0.60	2.40	28.00	1.00	-	2.33	-	0.33	-	3.67	-	0.33	-	-	3.00	-	-	3.00	-	-	-	1.00		
春 日 部	報告数	1	28	614	2	9	17	36	2	1	3	1	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	0.17	4.67	102.33	0.67	3.00	5.67	12.00	0.67	0.33	1.00	0.33	0.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
幸 手	報告数	2	72	1,306	2	7	24	36	5	2	13	5	6	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	0.22	8.00	145.11	0.40	1.40	4.80	7.20	1.00	0.40	2.60	1.00	1.20	0.20	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
坂 戸	報告数	-	8	392	-	1	2	50	4	-	12	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	定点当たり	-	2.00	98.00	-	0.33	0.67	16.67	1.33	-	4.00	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00		
草 加	報告数	-	40	598	-	1	22	39	10	5	2	3	5	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	-	3.64	54.36	-	0.14	3.14	5.57	1.43	0.71	0.29	0.43	0.71	0.29	-	-	*	*	*	*	*	*	*		
狭 山	報告数	-	58	637	3	7	45	36	10	1	18	2	1	3	2	3	-	-	1	-	-	-	2		
	定点当たり	-	4.46	49.00	0.30	0.70	4.50	3.60	1.00	0.10	1.80	0.20	0.10	0.30	0.40	0.60	-	-	1.00	-	-	-	2.00		
南 部	報告数	1	32	424	5	1	24	25	22	6	4	1	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	8		
	定点当たり	0.20	6.40	84.80	1.67	0.33	8.00	8.33	7.33	2.00	1.33	0.33	1.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	8.00		
川 越 市	報告数	-	13	815	-	5	25	17	20	12	12	2	4	1	-	2	*	*	*	*	*	*	*		
	定点当たり	-	1.44	90.56	-	1.00	5.00	3.40	4.00	2.40	2.40	0.40	0.80	0.20	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*		
越 谷 市	報告数	-	20	683	-	2	11	36	10	2	5	3	8	-	-	-	-	2	4	-	-	-	2		
	定点当たり	-	2.50	85.38	-	0.40	2.20	7.20	2.00	0.40	1.00	0.60	1.60	-	-	-	-	2.00	4.00	-	-	-	2.00		
川 口 市	報告数	1	47	1,090	4	4	43	62	14	7	7	3	16	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-		
	定点当たり	0.07	3.36	77.86	0.50	0.50	5.38	7.75	1.75	0.88	0.88	0.38	2.00	-	0.25	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-		
さいたま市	報告数	9	69	3,046	12	14	114	169	25	9	8	15	10	1	1	7	-	-	1	-	-	-	2		
	定点当たり	0.21	1.60	70.84	0.43	0.50	4.07	6.04	0.89	0.32	0.29	0.54	0.36	0.04	0.11	0.78	-	-	1.00	-	-	-	2.00		
(- : 0.00)		#1 鳥インフルエンザを除く																#2 真菌性を含む		#3 オウム病を除く					
																		7月		15日		13:00 集計			

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報 告 患 者 数			年 齢 別		(2025年第28週 7月7日～7月13日)												
	合計	－6ヵ月	－12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	27	－	－	1	－	2	3	－	2	1	3	－	4	1	－	1	2	4	2	－	1
新型コロナウイルス感染症	615	5	5	19	5	2	2	3	1	1	－	2	27	36	73	65	102	103	56	53	55
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～								
急性呼吸器感染症	13,460	857	5,223	3,207	1,381	365	479	474	381	380	253	260	200								
	合計	－6ヵ月	－12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	37	6	7	14	4	3	－	2	－	－	1	－	－	－	－						
咽頭結膜熱	72	－	1	24	12	11	7	10	3	1	－	1	2	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	460	－	3	8	27	44	61	49	54	48	42	44	70	2	8						
感染性胃腸炎	692	11	53	123	78	54	50	59	53	28	21	32	93	13	24						
水痘	164	－	1	2	7	5	4	12	24	24	22	22	41	－	－						
手足口病	51	2	7	19	5	4	4	7	1	1	1	－	－	－	－						
伝染性紅斑	167	1	1	5	23	25	26	24	14	13	15	8	10	－	2						
突発性発しん	48	1	6	29	11	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ	90	－	13	21	13	12	12	12	2	1	1	1	1	1	－						
流行性耳下腺炎	11	－	－	－	－	2	－	2	3	2	1	－	1	－	－						
	合計	－6ヵ月	－12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	4	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	2	－	－	
流行性角結膜炎	23	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	－	3	1	4	5	4	1	－	2	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎	13	－	2	6	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 #3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
インフルエンザ(入院)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
新型コロナウイルス感染症(入院)	22	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	19				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第26週 (6月23日～6月29日)

令和7年7月16日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,852):インフルエンザの定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(5.11)、佐賀県(1.21)、長崎県(0.90)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は22例と前週と比較して減少した。都道府県別では11都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～9歳(1例)、10代(1例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(4例)、70代(8例)、80歳以上(5例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.22)、茨城県(2.26)、鹿児島県(1.89)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は485例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(21例)、1～9歳(17例)、10代(4例)、20代(9例)、30代(10例)、40代(11例)、50代(26例)、60代(39例)、70代(134例)、80歳以上(214例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,853)定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(73.83)、栃木県(73.40)、群馬県(72.47)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,355):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.56)、山形県(1.42)、長崎県(0.87)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(2.55)、鹿児島県(1.48)、奈良県(5.59)、埼玉県(4.68)、愛媛県(4.67)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(9.67)、大分県(9.28)、岐阜県(8.44)である。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は埼玉県(1.69)、神奈川県(1.16)、東京都(0.95)である。手足口病の定点当たり報告数は第23週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は奈良県(1.65)、大阪府(1.11)、高知県(1.05)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(5.50)、群馬県(5.16)、栃木県(4.74)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山口県(7.43)、福岡県(6.13)、佐賀県(5.33)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(0.22)、福島県(0.21)、広島県(0.19)である。

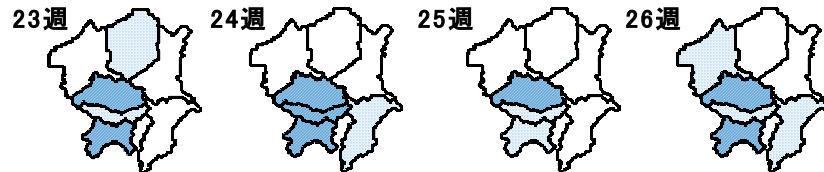
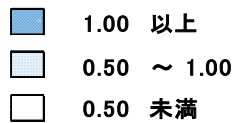
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は秋田県(3.00)、福井県(2.50)、群馬県(2.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で減少した。10都道府県から14例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(2例)、5～9歳(8例)、10代(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第26週(6月23日～6月29日):通巻第27巻 第26号 より

<関東情報>

水痘の定点当たり報告数は、埼玉県(1.69)、神奈川県(1.16)からの報告が多い。

水痘



2025年 26週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,023	235	7	6	4	31	50	84	53
	定点当たり	0.27	0.20	0.10	0.13	0.09	0.18	0.27	0.20	0.22
新型コロナウイルス感染症	報告数	5,405	1,839	154	78	29	327	309	529	413
	定点当たり	1.40	1.57	2.26	1.66	0.64	1.87	1.68	1.27	1.75
急性呼吸器感染症	報告数	194,889	72,457	4,549	3,450	3,261	12,994	11,030	21,803	15,370
	定点当たり	50.58	61.46	66.90	73.40	72.47	73.83	59.95	52.29	63.51
RSウイルス感染症	報告数	661	133	10	6	1	26	19	28	43
	定点当たり	0.28	0.18	0.26	0.22	0.04	0.23	0.16	0.11	0.31
咽頭結膜熱	報告数	1,713	450	33	5	29	103	61	135	84
	定点当たり	0.73	0.62	0.87	0.19	1.16	0.93	0.52	0.52	0.60
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,974	2,486	149	151	49	519	362	877	379
	定点当たり	2.54	3.45	3.92	5.59	1.96	4.68	3.07	3.35	2.71
感染性胃腸炎	報告数	13,125	4,067	200	109	198	705	565	1,574	716
	定点当たり	5.57	5.64	5.26	4.04	7.92	6.35	4.79	6.01	5.11
水痘	報告数	1,291	708	10	6	16	188	75	250	163
	定点当たり	0.55	0.98	0.26	0.22	0.64	1.69	0.64	0.95	1.16
手足口病	報告数	992	243	8	7	11	35	23	115	44
	定点当たり	0.42	0.34	0.21	0.26	0.44	0.32	0.19	0.44	0.31
伝染性紅斑	報告数	5,020	1,039	125	128	129	213	147	148	149
	定点当たり	2.13	1.44	3.29	4.74	5.16	1.92	1.25	0.56	1.06
突発性発しん	報告数	890	288	12	18	15	51	48	91	53
	定点当たり	0.38	0.40	0.32	0.67	0.60	0.46	0.41	0.35	0.38
ヘルパンギーナ	報告数	2,398	276	12	8	8	28	44	131	45
	定点当たり	1.02	0.38	0.32	0.30	0.32	0.25	0.37	0.50	0.32
流行性耳下腺炎	報告数	201	85	1	1	1	18	16	30	18
	定点当たり	0.09	0.12	0.03	0.04	0.04	0.16	0.14	0.11	0.13
急性出血性結膜炎	報告数	12	5	-	-	-	4	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.09	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	611	265	48	9	27	33	39	18	91
	定点当たり	0.88	1.26	2.82	0.75	1.93	0.77	1.11	0.46	1.78
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	3	-	-	-	1	1	1	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.08	0.11	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	23	6	1	-	-	1	-	2	2
	定点当たり	0.05	0.07	0.08	-	-	0.08	-	0.08	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	281	62	6	7	21	8	1	10	9
	定点当たり	0.58	0.71	0.46	1.00	2.33	0.67	0.11	0.40	0.75
クラミジア肺炎 #3	報告数	3	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	14	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.03	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査

2025年

▶

感染症の流行状況 2025年 第1週

▶

感染症の流行状況 2025年 第2週

▶

感染症の流行状況 2025年 第3週

▶

感染症の流行状況 2025年 第4週

▶

感染症の流行状況 2025年 第5週

▶

感染症の流行状況 2025年 第6週

▶

感染症の流行状況 2025年 第7週

▶

感染症の流行状況 2025年 第8週

▶

感染症の流行状況 2025年 第9週

▶

感染症の流行状況 2025年 第10週

▶

感染症の流行状況 2025年 第11週

▶

感染症の流行状況 2025年 第12週

▶

感染症の流行状況 2025年 第13週

▶

感染症の流行状況 2025年 第14週

▶

感染症の流行状況 2025年 第15週

▶

感染症の流行状況 2025年 第16週

▶

感染症の流行状況 2025年 第17週

▶

感染症の流行状況 2025年 第18週

▶

感染症の流行状況 2025年 第19週

▶

感染症の流行状況 2025年 第20週

▶

感染症の流行状況 2025年 第21週

▶

感染症の流行状況 2025年 第22週

▶

感染症の流行状況 2025年 第23週

▶

感染症の流行状況 2025年 第24週

▶

感染症の流行状況 2025年 第25週

▶

感染症の流行状況 2025年 第26週

▶

感染症の流行状況 2025年 第27週

感染症の流行状況 2025年 第28週

2025年第28週（7月7日～7月13日）は、百日咳は多い状況が続いており、新型コロナウイルス感染症は増加傾向にあります。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

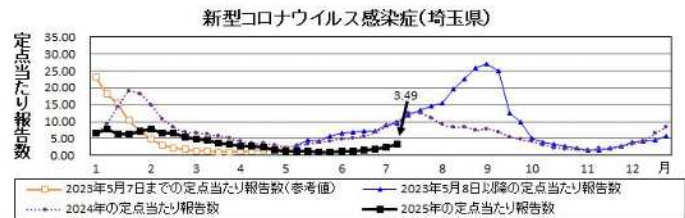
全数把握対象疾患（百日咳）

年齢階級別の患者数を患者の診断された週ごとに見ると、第28週に診断された患者236人のうち、10～14歳は84人（全体の約36％）と最も多く、次いで5～9歳の72人（約31％）、15～19歳の24人（約10％）の順でした。



定点把握対象疾患（新型コロナウイルス感染症）

定点当たり報告数は3.49で、第25週以降、増加傾向にあります。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	↓	★★★
急性呼吸器感染症	→	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	→	★	ヘルパンギーナ	↑	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	↓	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さいー★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が増えとなりました。

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」をご覧ください。